

自治会

- ・住民同士が協力して住みよいまちにする基盤
- ・安全・安心
- ・市とのパイプ役

規模

活動を継続していける世帯

60世帯程度以上

活動

総務

- ・総会
- ・規約
- ・組織図
- ・名簿管理
- ・活動マニュアル
- ・サポート体制
- ・自治会加入促進
- ・市への要望

財政

- ・予算、決算
- ・事業計画
- ・将来像
- ・会費
- ・財産管理

情報共有

【広報内容】

- ・予算、決算
- ・活動内容
- ・地域の情報

【方法】

- ・回覧
- ・パンフレット
- ・SNS

【活動のポイント】

- ・お互いに声かけができる関係性
- ・楽しみやサポート体制をどう作るかといったビジョン
- ・気軽に集まれるグループ

※自治会活動を維持するためには、手法を見直して効率化したり、活動内容を見直して必要最低限の内容に縮小することも必要です。

他団体・

ボランティアと連携

企画

※充実した取組は自治会活動全体を底上げ

- ・楽しみ
- ・つながり
- ・気軽さ
- ・子どもの参加
- ・若い世代へのサポート

福祉

- ・声かけ

消防・防災

- ・声かけ

環境美化

体制

自治会長

- ・組織をまとめる責任者
- ・組織内、他の組織と連携するための調整役
- ・性別にこだわらない。

役員（副会長・会計・監事など）

- ・会長を補佐
- ・自治会員を巻き込み役割分担
- ・性別にこだわらない。

自治会員

- ・活動への参加
- ・役員任せにせず、できることをする。
- ・アイデア出し

【体制のポイント】

◎1番の問題は役員のみ手がないこと。以下のように少しでも自治会に関わってくれる方を増やす体制づくりが大切です。

- ・祭りや文化祭など、集まる機会（特に若い人が集まる機会）
- ・全員に情報が伝わるような会議のあり方
- ・役員選出方法など、決まり
- ・LINEグループなど、デジタル化

※体制を維持できなくなったときのため統合などを考えていくことも必要です。

市との関わり

【自治会から市への依頼等】

- ・自治会要望、意見（道路や河川の整備など）

【市から自治会への依頼等】

- ・回覧、各戸配付（毎月2回）
- ・各種委員の推薦、就任
- ・施設管理
- ・募金などのとりまとめ
- ・催し等への参加

【市からの支援等】

- ・自治会報償金
- ・資源リサイクル報奨金
- ・自治会集会施設等整備費補助金
- ・コミュニティ助成
- ・情報発信 など

【市との関係性のポイント】

- ・お互いを信頼して言いたいことが言い合える関係性
- ・自治会は行政の下請け組織ではなく、行政に依存せず住民の主体性を発揮すること

◎持続可能な地域コミュニティに向けて

活動

- ・地域住民のコミュニケーション
- ・地域の将来像をみんなで考える。
- ・気軽に集まれるグループでの活動、また、その活動へのサポート
- ・子ども向けのイベント
- ・できる範囲での活動
- ・ボランティアや他団体の積極的な活用
- ・情報共有のデジタル化

体制

- ・役割の明確化
- ・サポート体制
- ・会議の効率化
- ・情報共有、連絡調整のデジタル化
- ・住民が積極的に参加できる仕組み
- ・規約やマニュアル等のルール
- ・事務員の配置
- ・外部の人を受け入れる度量
- ・自治会に対する住民の意識の持ち方

市との関わり

- ・お互いに敬意と信頼をもつこと
- ・円滑なコミュニケーション
- ・住民の主体性を発揮すること
- ・頑張っている自治会には更なる支援

まとめ

「活動」「体制」「市との関わり」に掲げたポイントを押さえた取組を行い、活動に関わってくれる人を増やすことにより、持続可能な地域コミュニティを実現していく。